

2022/10~2022/12 にっしん景況レポート

2023/1

Vol.

27



日新信用金庫では、当金庫営業エリア内で事業を営む経営者の皆様からご協力をいただき、2022年10~12月の景気の現状と2023年1~3月の見通しを調査する景気動向調査を実施しました。
対象業種は、製造業、卸売業、小売業、サービス業、建設業、不動産業の6業種です。

〈 調査概要 〉

1. 調査対象期間 : 2022年10~12月の実績(12月については予想)
2023年1~3月の見通し
2. 調査方法 : 営業店調査員による面接聴き取り
3. 調査対象先 : 当金庫営業エリア内の361社
4. 分析方法 : D.I.という指標を用いた分析。
D.I.とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、各質問項目について、「増加(良い、上昇)」とプラスの回答をした企業の割合(%)から、「減少(悪い、下降)」とマイナスの回答をした企業の割合(%)を差引いた指標で、構成比の差が判断D.I.となります。
各回答がプラス、マイナスどちらの方向に向かっているか、上向きの力が強いのか、下向きの力が強いのかを示す指標となります。
5. 期間について : 今 期 = 2022年10~12月
前 期 = 2022年7~9月
前年同期 = 2021年10~12月
来 期 = 2023年1~3月
6. 業種別、地区別回答数

	地区合計	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
明石地区	153	50	22	17	25	19	20
三木地区	55	17	11	6	8	9	4
神戸地区	153	24	24	17	40	25	23
業種合計	361	91	57	40	73	53	47

● 今期の景況

今期(2022年10月~12月)は景気判断の目安となる全業種における業況判断D.I.が▲6.6となり、前期(2022年7月~9月)に比べ7.0ポイント改善した。売上額判断D.I.は8.9となり、前期と比べて10.6ポイント改善した。収益判断D.I.は0.0となり、前期と比べて12.8ポイント改善した。

● 来期の見通し

来期(2023年1月~3月)の予想業況判断D.I.は▲17.7となり、今期実績から低下する見通しとなった。

〈「御社の業況」回答数〉

	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	合計
回答数	10	69	179	87	16	361
回答割合	2.8%	19.1%	49.6%	24.1%	4.4%	100%

$$\text{業況判断D.I.} = 21.884\% - 28.532\% \div \mathbf{\blacktriangle 6.6}$$

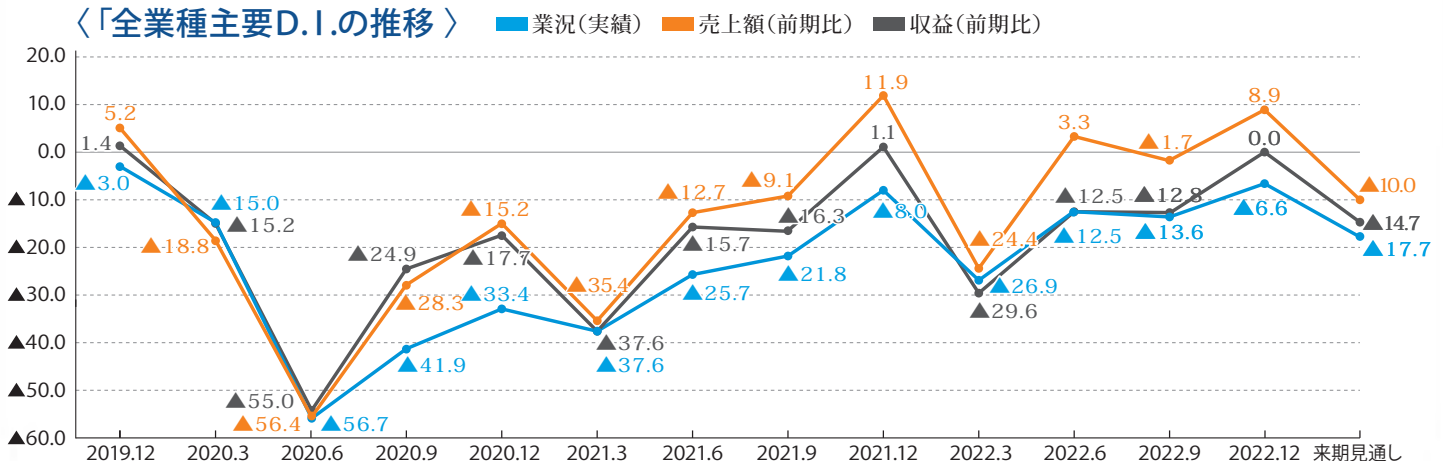
〈2022年10~12月地区別業況判断D.I.〉

	全業種	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
明石地区	2.0	8.0	18.2	▲23.5	▲16.0	5.3	10.0
三木地区	▲5.5	0.0	▲9.1	▲16.7	25.0	▲22.2	▲25.0
神戸地区	▲15.7	▲12.5	▲20.8	5.9	▲27.5	▲24.0	0.0
全地区	▲6.6	1.1	▲3.5	▲10.0	▲17.8	▲13.2	2.1

〈全業種総合主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲13.6	▲6.6	▲17.7	販売価格(前期比)	30.3	30.2	23.0
売上額(前期比)	▲1.7	8.9	▲10.0	仕入価格(前期比)	69.1	70.6	59.4
売上額(前年同期比)	3.6	7.2	—	資金繰り(楽-苦)	▲5.8	▲4.7	▲6.4
収益(前期比)	▲12.8	0.0	▲14.7	人手不足(過剰-不足)	▲33.3	▲38.6	▲34.7
収益(前年同期比)	▲10.3	▲8.6	—				

〈「全業種主要D.I.の推移」〉



● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は1.1となり、前期実績と比して15.4ポイント改善した。

売上額判断D.I.は12.1、収益判断D.I.は2.2となり、前期実績と比してそれぞれ6.6ポイント、11.0ポイント改善した。また、売上額判断D.I.の前年同期比は14.3、収益判断D.I.の前年同期比は1.1となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益は増加したと回答した企業の割合が多い結果となった。

資金繰り判断D.I.は4.4となり、前期実績と比してプラスに転換した。

● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は▲11.0と今期実績から低下する見通しとなった。また、予想売上額判断D.I.は▲7.7、予想収益判断D.I.は▲6.7となり、今期実績から売上額および収益は低下する見通しとなった。

〈 製造業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲ 14.3	1.1	▲ 11.0	販売価格(前期比)	35.2	30.8	25.3
売上額(前期比)	5.5	12.1	▲ 7.7	仕入価格(前期比)	80.2	76.9	62.6
売上額(前年同期比)	6.6	14.3	—	資金繰り(楽-苦)	▲ 2.2	4.4	▲ 2.2
収益(前期比)	▲ 8.8	2.2	▲ 6.7	人手不足(過剰-不足)	▲ 24.2	▲ 35.6	▲ 33.3
収益(前年同期比)	▲ 9.9	1.1	—				

● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲3.5となり、前期実績と比して19.7ポイント改善した。

売上額判断D.I.は22.8、収益判断D.I.は10.5となり、前期実績と比してそれぞれ22.8ポイント、24.8ポイント改善した。また、売上額判断D.I.の前年同期比は24.6、収益判断D.I.の前年同期比は▲1.8となり、昨年と同じ時期に比べ売上額は増加し、収益は減少したと回答した企業の割合が多い結果となった。

● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は▲21.1と今期実績から低下する見通しとなった。また、予想売上額判断D.I.は▲14.0、予想収益判断D.I.は▲17.5となり、今期実績から売上額および収益は低下する見通しとなった。

〈 卸売業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲ 23.2	▲ 3.5	▲ 21.1	販売価格(前期比)	46.4	45.6	45.6
売上額(前期比)	0.0	22.8	▲ 14.0	仕入価格(前期比)	69.6	68.4	50.9
売上額(前年同期比)	0.0	24.6	—	資金繰り(楽-苦)	▲ 1.8	▲ 5.3	▲ 7.0
収益(前期比)	▲ 14.3	10.5	▲ 17.5	人手不足(過剰-不足)	▲ 19.6	▲ 19.3	▲ 17.5
収益(前年同期比)	▲ 21.4	▲ 1.8	—				

● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲10.0となり、前期実績と比して20.0ポイント改善した。
売上額判断D.I.は15.0、収益判断D.I.は10.0となり、前期実績と比してそれぞれ27.5ポイント、35.0ポイント改善した。また、売上額判断D.I.の前年同期比は▲7.5、収益判断D.I.の前年同期比は▲10.0となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益は減少したと回答した企業の割合が多い結果となった。

● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は▲40.0と今期実績から低下する見通しとなった。また、予想売上額判断D.I.は▲30.0、予想収益判断D.I.は▲25.0となり、今期実績から売上額および収益は低下する見通しとなった。

〈小売業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲ 30.0	▲ 10.0	▲ 40.0	販売価格(前期比)	40.0	42.5	25.0
売上額(前期比)	▲ 12.5	15.0	▲ 30.0	仕入価格(前期比)	67.5	67.5	52.5
売上額(前年同期比)	2.5	▲ 7.5	—	資金繰り(楽-苦)	▲ 10.0	▲ 15.0	▲ 10.0
収益(前期比)	▲ 25.0	10.0	▲ 25.0	人手不足(過剰-不足)	▲ 17.5	▲ 35.0	▲ 27.5
収益(前年同期比)	▲ 7.5	▲ 10.0	—				

● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲17.8となり、前期実績と比して5.8ポイント改善した。
売上額判断D.I.は5.5、収益判断D.I.は▲8.2となり、前期実績と比してそれぞれ19.4ポイント、14.0ポイント改善した。また、売上額判断D.I.の前年同期比は4.1、収益判断D.I.の前年同期比は▲20.5となり、昨年と同じ時期に比べ売上額は増加し、収益は減少したと回答した企業の割合が多い結果となった。

● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は▲23.3と今期実績から低下する見通しとなった。また、予想売上額判断D.I.は▲17.8、予想収益判断D.I.は▲21.9となり、今期実績から売上額および収益は低下する見通しとなった。

〈サービス業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲ 23.6	▲ 17.8	▲ 23.3	販売価格(前期比)	9.7	23.3	15.1
売上額(前期比)	▲ 13.9	5.5	▲ 17.8	仕入価格(前期比)	59.7	68.5	60.3
売上額(前年同期比)	11.1	4.1	—	資金繰り(楽-苦)	▲ 22.2	▲ 21.9	▲ 20.5
収益(前期比)	▲ 22.2	▲ 8.2	▲ 21.9	人手不足(過剰-不足)	▲ 52.8	▲ 60.3	▲ 56.2
収益(前年同期比)	▲ 4.2	▲ 20.5	—				

○ 今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲13.2となり、前期実績と比して15.1ポイント低下した。

売上額判断D.I.が▲3.8、収益判断D.I.が▲9.4となり、前期実績と比して売上額は1.8ポイント改善し、収益は0.1ポイント低下した。また、売上額判断D.I.の前年同期比は1.9、収益判断D.I.の前年同期比は▲22.6となり、昨年と同じ時期に比べ売上額は増加し、収益は減少したと回答した企業の割合が多い結果となった。

資金繰り判断D.I.は▲1.9となり、前期実績と比してマイナスに転換した。

○ 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は▲20.8と今期実績から低下する見通しとなった。また、予想売上額判断D.I.は▲7.5、予想収益判断D.I.は▲22.6となり、今期実績から売上額および収益は低下する見通しとなった。

〈 建設業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	1.9	▲13.2	▲20.8	販売価格(前期比)	7.4	5.7	1.9
売上額(前期比)	▲5.6	▲3.8	▲7.5	仕入価格(前期比)	72.2	79.2	69.8
売上額(前年同期比)	▲14.8	1.9	—	資金繰り(楽-苦)	3.8	▲1.9	▲7.5
収益(前期比)	▲9.3	▲9.4	▲22.6	人手不足(過剰-不足)	▲55.6	▲50.9	▲47.2
収益(前年同期比)	▲20.4	▲22.6	—				

○ 今期の景況

今期の業況判断D.I.は2.1となり、前期実績と比して8.5ポイント低下した。

売上額判断D.I.は0.0、収益判断D.I.は▲2.1となり、前期実績と比してそれぞれ14.9ポイント、4.2ポイント低下した。また、売上額判断D.I.の前年同期比は▲4.3、収益判断D.I.の前年同期比は0.0となり、昨年と同じ時期に比べ売上額は低下し、収益は変わらないと回答した企業の割合が多い結果となった。

○ 来期の見通し

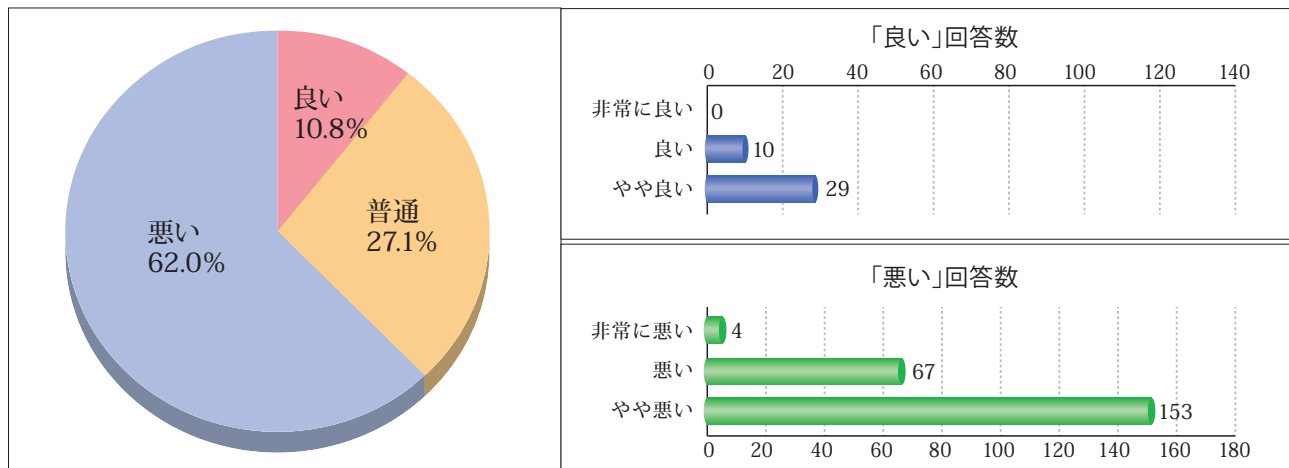
来期の予想業況判断D.I.は4.3と今期実績から改善する見通しとなった。また、予想売上額判断D.I.は17.0、予想収益判断D.I.は2.1となり、今期実績から売上額および収益は改善する見通しとなった。

〈 不動産業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	10.6	2.1	4.3	販売価格(前期比)	51.1	38.3	25.5
売上額(前期比)	14.9	0.0	17.0	仕入価格(前期比)	58.7	56.5	56.5
売上額(前年同期比)	12.8	▲4.3	—	資金繰り(楽-苦)	0.0	10.6	12.8
収益(前期比)	2.1	▲2.1	2.1	人手不足(過剰-不足)	▲25.5	▲23.4	▲17.0
収益(前年同期比)	2.1	0.0	—				

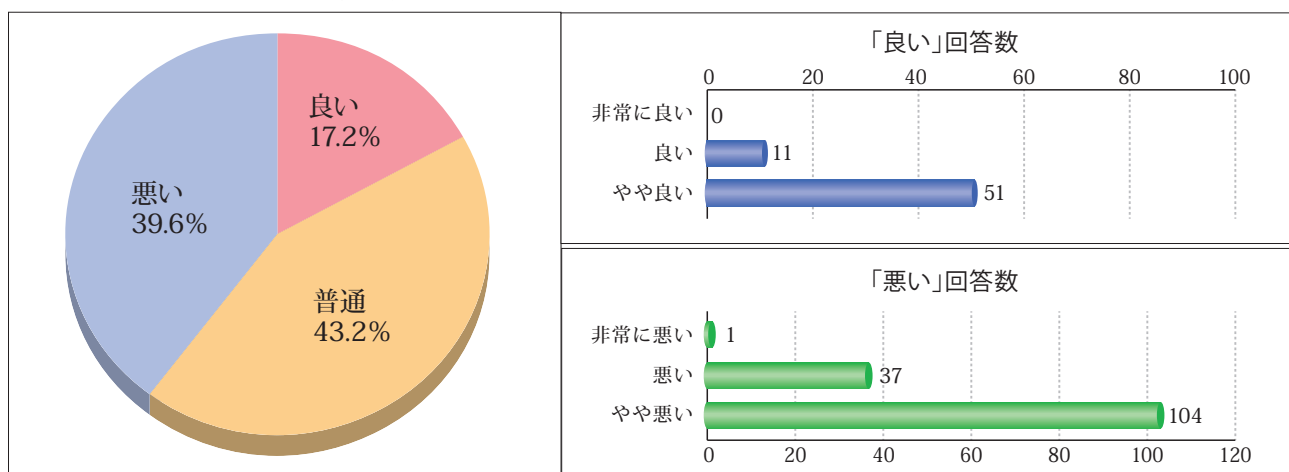
特別調査:「2023年(令和5年)の経営見通し」

◎ ～2023年の日本の景気をどのように見通していますか。～



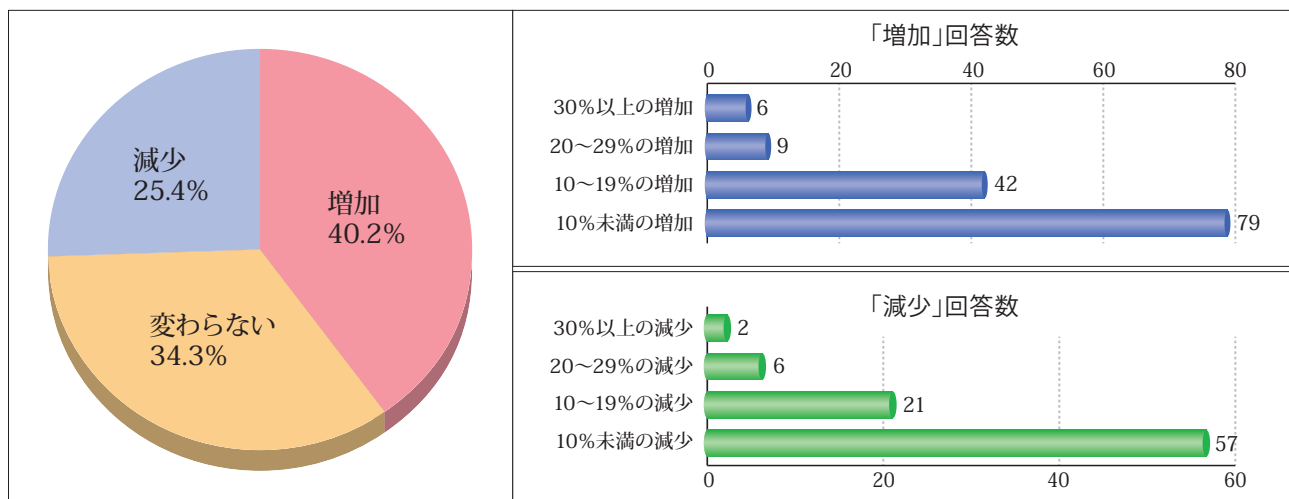
2023年の日本の景気の見通しについては、「やや悪い」の回答数が最も多く、「非常に良い」の回答は無かった。全体の割合としては「悪い(62.0%)」、次いで「普通(27.1%)」、「良い(10.8%)」となった。

◎ ～2023年の自社の業況(景気)をどのように見通していますか。～



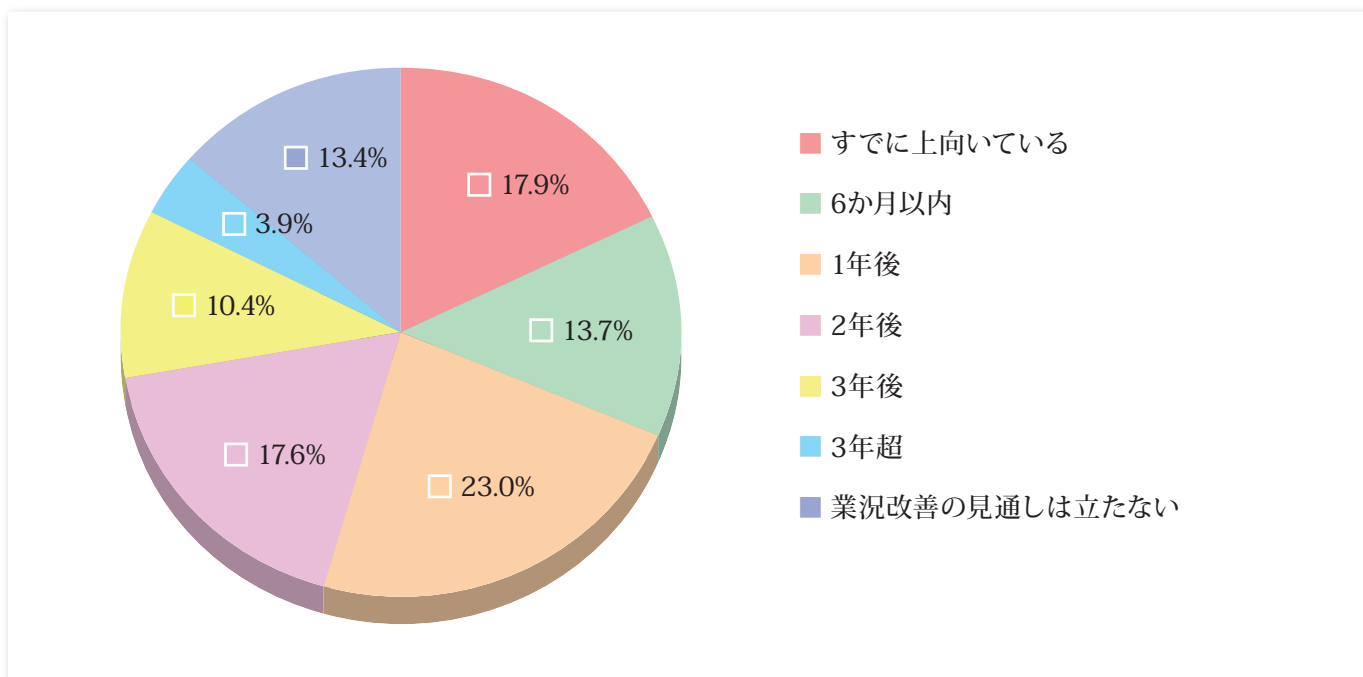
2023年の自社の業況の見通しについては、「普通」の回答数が最も多く、次いで「やや悪い」の回答が多かった。また「非常に良い」の回答は無かった。全体の割合としては「普通(43.2%)」、次いで「悪い(39.6%)」、「良い(17.2%)」となった。

◎ ～2022年に比べて2023年の売上額の伸び率について、どのように見通していますか。～



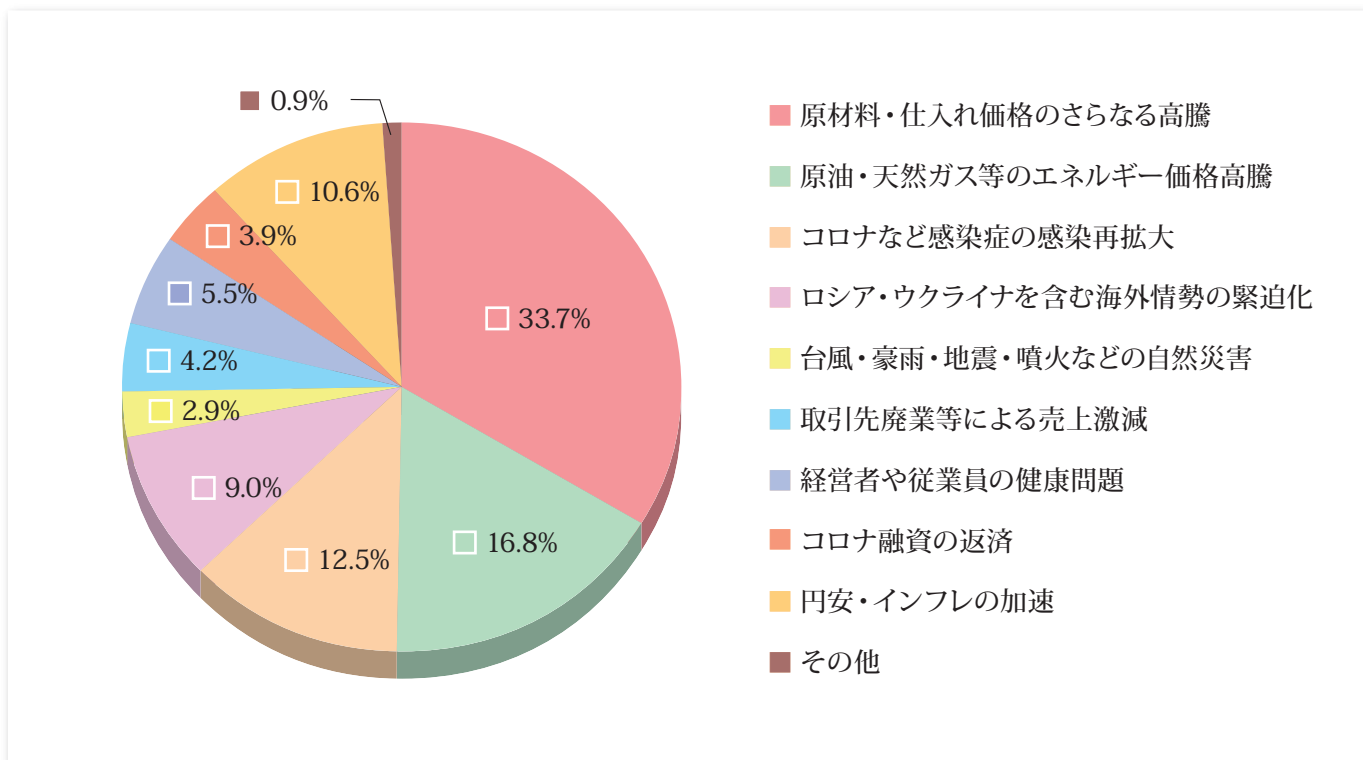
2023年の売上額の伸び率については、「変わらない」の回答数が最も多く、次いで「10%未満の増加」、「10%未満の減少」の回答が多かった。全体の割合としては「増加(40.2%)」、次いで「変わらない(34.3%)」、「減少(25.4%)」となった。

● ～自社の業況が上向く転換点をいつ頃になると見通していますか。～



自社の業況が上向く転換点については、「1年後(23.0%)」が最も多く、次いで「すでに上向いている(17.9%)」、「2年後(17.6%)」、「6か月以内(13.7%)」、「業況改善の見通しは立たない(13.4%)」、「3年後(10.4%)」、「3年超(3.9%)」の順となった。

● ～2023年の事業環境を展望したときの経営リスクは何ですか。～



2023年の経営リスクについては、「原材料・仕入れ価格のさらなる高騰(33.7%)」が最も多く、次いで「原油・天然ガス等のエネルギー価格高騰(16.8%)」、「コロナなど感染症の感染再拡大(12.5%)」、「円安・インフレの加速(10.6%)」、「ロシア・ウクライナを含む海外情勢の緊迫化(9.0%)」、「経営者や従業員の健康問題(5.5%)」、「取引先廃業等による売上激減(4.2%)」、「コロナ融資の返済(3.9%)」、「台風・豪雨・地震・噴火などの自然災害(2.9%)」、「その他(0.9%)」の順となった。

イベント関連

現在、予定しているイベントは下記のとおりですが、新型コロナウイルスの感染状況により中止又は延期させていただきます場合がございます。

また、募集状況により受付を終了している場合がございます。

●「土曜創業相談会」を実施します!

創業をお考えの方や、創業して間もない方の様々なお悩みに、兵庫県よろず支援拠点の専門スタッフが応じます。

- 開催日時：①令和5年 2月11日(土)13:00~17:00
②令和5年 3月11日(土)13:00~17:00
- 会場：明石商工会議所5階会議室
- 参加費：無料 ●定員：各日程4組(ご相談時間1組60分)

●「事業承継個別相談会」を実施します!

事業継承をお考えの方の様々なお悩みに、兵庫県よろず支援拠点の専門スタッフが応じます。詳しくはお取引店までお問合せください。

- 開催日時・会場：①令和5年 2月 20日(月)13:00~17:15 日新信用金庫 宇治川支店
②令和5年 3月 6日(月)13:00~17:15 日新信用金庫 西宮今津支店
- 参加費：無料 ●定員：各日程3組(ご相談時間1組75分)

- 当金庫の情報発信ツールとしてLINE公式アカウントを発信しております。LINE公式アカウントでは当金庫からキャンペーン商品のご案内、地域貢献、地域イベントの紹介等を発信しますので、右記QRコードから「友だち」登録をお願いします。



<https://www.nisshin-shinkin.co.jp/>

QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。




このたびは、第27回中小企業景気動向調査にご協力いただきまして誠にありがとうございました。

調査結果についてのご照会、またご不明点等ございましたら、下記フリーダイヤルまでお問合せください。

 **日新信用金庫**

〒673-0892 兵庫県明石市本町2丁目3番20号

フリーダイヤル イコー ニッシンバンク
 **0120-15-2489**

(受付時間)平日午前9時から午後5時まで